小学校　国語科９（平成 20 年度）
マップを活用し，発表の聞き方の技能ポイントをとらえる

小学校第５学年　国語科学習指導案

１　単元名　　伝え合って考えよう（9 月中旬）

２　用いる教材

人と「もの」との付き合い方

３　単元のねらい

○ 自分の課題について調べたことを整理し，資料を提示しながら発表することができる。
○ 発表を聞いて自分の考えと比べたり，助言や提案をしたりすることができる。
○ 調べたことや聞いて考えたことについて，構成を工夫して文章に書くことができる。

（言語活動）

○ 資料を提示しながら説明や報告をしたり，それらを聞いて助言や提案をしたりすること。
○ 自分の課題について調べ，意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。

４　指導計画（全１５時間）

第一次	１．２時間目	資料「ごみ問題ってなあに」を読み，筆者の意見や事例，資料を読んだ感想や疑問をマップに書く。
第二次	１～３時間目	身近な生活の中から自分の課題を決め，調査活動をする。
	４時間目	調査結果の要点をマップに書き，発表の構成を工夫する。
	５～７時間目	発表資料をつくり，グループで発表練習や助言・修正をする。
	８時間目	教科書の事例をモデルにして，発表の聞き方の技能ポイントをとらえる。
	９．１０時間目	発表会を開き，自分の意見と比べながら友達の発表を聞き，要点をマップに書き加える。
第三次	１．２時間目	文例「わが家のごみは減らせるのか」を参考にして，マップの内容を基に意見文を書く。
	３時間目	意見文を友達と読み合ったり，マップを読み返して自分の考えの深まりを評価したりする。

５　指導の構想

本単元の主な指導事項は「エ　話し手の意図をとらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」（「話すこと・聞くこと」）である。

「話し手の意図をとらえ」「自分の意見と比べ」「考えをまとめる」ために，５年上「言葉の研究レポート」（６月実施）で習得したマップを使った思考法や発想法を活用する。児童が，①話し手の意図を考えながら発表の要点をマップに書く，②マップの中の言葉を読んで自分の課題との共通点や相違点を考える，③言葉同士を新たに関連付けて自分の考えを生み出す，などの思考・判断ができるためである。さらに単元の最後にはマップに書かれた言葉の数や系統の増加，言葉同士の結び付きの増加に着目させて，考えの深まりを実感させる指導ができるためである。

本時では教科書の事例にある発表者の言葉と，聞き手が考えたことをマップに書かせ，自分の課題との共通点や相違点をとらえる聞き方の技能ポイントをまとめる指導をする。聞き方の技能ポイントをまとめる際には，児童が他の場面でも活用できるように汎用性の

ある事項を一般化した表現でまとめていく。

６　本時の指導

（１）本時のねらい（８/１５時間目）

教科書の発表例を基に，自分の意見と比べながら聞くための技能ポイントをとらえることができる。

（２）展開

教師の働き掛け	学習活動と予想される反応	評価と留意点
１　マップの効果を感じさせながら本時のめあてをもたせる。 指示「マップの言葉や線が増えてきました。考えを更に深めるために，自分の考えと比べながら聞く方法を工夫しましょう。」	１　マップを見て言葉の数や系統の広がりを確認し，本時のめあてをもつ。 ・教科書の資料や自分が調べた事例のキーワードを線で結んできた。言葉も線も増え，いろいろな見方ができるようになってきた。 ・どのような工夫をすればよいのだろう。	・教師の作成したマップを提示し参考にさせる。 ・言葉のつなぎかたに個性が表れることに触れる。
２　発表のキーワードを聞き取らせ，マップ上の言葉との関係を考えさせる。 指示「教科書の坂口さんの発表を聞きましょう。キーワードはマップに書き，関係のある言葉と線でつなぎます。」 発問「どの言葉とつなぎましたか。その理由は何ですか。」 発問「違うつなぎ方は考えられますか。」 （思考力・判断力を育成する）	２　発表のキーワードを聞き取ってマップに書き，関係のある言葉を探して線でつなぐ。 ・教科書の資料の言葉「１日１人１kg のごみ」と，坂口さんの「１人１日６００ｇのごみ」をつなぎました。どちらも１日１人当たりのごみの量を調べているからです。	・マップの書き方は単元「言葉の研究レポート」（５年上）で既習。 ・坂口さんの発表（教師用指導書付属 CD―２）を２回聞かせる。 ・指導書掲載の発表資料（グラフ・図）も掲示し，参照させながら聞かせる。
３　自分の考えと比べながら聞いている具体例を提示する。 指示「坂口さんの発表を聞いている相田さんの＜心の声＞を聞いてみましょう。キーワードはマップに書き，関係のある言葉と線で結びます。」 発問「どの言葉とつなぎましたか。その理由は何ですか。」 発問「違うつなぎかたは考えられますか。」 （思考力・判断力を育成する）	３　相田さんの＜心の声＞を坂口さんの発表のキーワードと比べながらマップに書く。 ・相田さんの「働く母には大変だ」と坂口さんの「袋や包み紙はいらないと言う」をつなぎました。理由は，入れ物や包み紙のごみが多いといっても坂口さんのやり方だと相田さんのお母さんのように困る人も出てくるので，反対意見としてつながっているからです。	・相田さんが発表を聞きながら考えている＜心の声＞（教師用指導書付属 CD―３）を２回聞かせる。 ◇坂口さんの発表と，相田さんの＜心の声＞の要点を対応させて線で結ぶことができる。 ・教師が作成したマップを掲示して，線の結び方を考えさせる。

４　自分の考えと比べながら聞く技能ポイントをとらえさせる。 発問「どのようなことに気を付けて聞くと，自分の考えと比べられますか。」 （知識・技能を活用しやすい表現でまとめる）	４　２，３の活動を通して分かったことを他の場面でも活用しやすいように一般化した表現でまとめる。 ・発表者が調べて分かったことは何か，その結果考えたことは何かを聞き取る。 ・自分の考えと同じところや違うところはどこか，どのような違いがあるか考えながら聞く。	・教科書 P76「たいせつ」の内容「発表を聞くときには」に当たる。 ◇聞き方の技能ポイントをとらえることができる。